

木曽青峰高等学校PTA会報

大地の樹

Daichinoki

CONTENTS

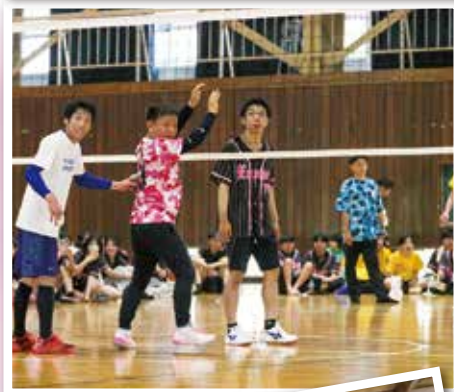
表紙：蒼陵祭の様子

2P：PTA会長、学校長挨拶 ほか

3P：学年主任挨拶、部活動の結果

4～7P：文化祭特集

8P：クラスマッチ、編集後記



編集後記

PTA会報発行にあたり、文化部員はより近くで生徒の皆さんの姿を見ることができました。特に文化祭では、小規模校ならではの、みんなで作り上げる文化祭。文化祭に来た保護者をはじめ地元の方々も一緒に楽しめる一体感がとても素敵だなと感じました。

高校生ともなると、なかなか学校の話をしてくれないですね。でも、思いっきり楽しんで高校生活満喫してます！そんな姿を少しでも感じていただけたらと思います。

文化委員長 千村由起子

編集担当 文化委員会

委員長 千村 由起子 (3年1組)

副委員長 羽根 祐介 (2年1組)

委員 三浦 智司 (2年4組)

木田村 明日香 (1年1組)

定時制教頭 半場 教子 教諭 渡辺 孝志





PTA会長
白金 恒行



校 長
依田 健

ごあいさつ

今年度PTA会長を務めております白金です。新年度が始まってから早くも半年が過ぎました。保護者の皆様には、お忙しい中、学校行事やPTA活動にご協力いただき、子どもたちとともに見守っていただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

私自身も一人の保護者として、先生方をはじめ多くの皆様に子どもがお世話になっていることに、日々感謝しております。学校生活を通して、子どもたちは学力だけでなく、人との関わり方や責任感、思いやりなど、多くのことを学びながら成長しています。

七月に開催された文化祭では、生徒一人ひとりが日頃の学習や部活動の成果を発揮し、学校全体が笑顔と活気に包まれました。仲間と協力し、一つの目標に向かって真剣に取り組む姿は頼もしく、子どもたちの成長を感じる機会となりました。PTAも運営に協力させていただき、多くの保護者の皆様のお力添えにより無事に終えることができました。改めて御礼申し上げます。

木曽青峰高校は、普通科、理数科、森林環境科、インテリア科、そして定時制普通科を有し、それぞれの特色を生かした学びができる魅力ある学校です。今年度から森林環境科で全国募集が始まり、木曽の豊かな自然や森林を生かした教育の魅力が全国へ広がっていくことを大変うれしく感じています。

一方で、少子化による生徒数の減少や学校施設の老朽化など、学校を取り巻く環境にはさまざまな課題があります。そのような中でも、生徒一人ひとりに寄り添い、より良い教育環境づくりに尽力されている先生方に、保護者として深く感謝しております。

PTA活動については、「役員は大変そう」と感じる方もいらっしゃると思います。私も決して最初から積極的だったわけではありません。しかし、活動を通じて先生方や保護者、地域の皆様とのつながりが生まれ、子どもたちが多くの方々に支えられていることを改めて実感しました。

高校生活は三年間です。保護者として学校に関われる時間も限られています。学校行事への参加や子どもたちを温かく見守ることなど、それぞれができる範囲で関わるのが、子どもたちへの大きな応援になると思います。

PTA会長としての任期も折り返しとなりました。残る期間も皆様とのつながりを大切にし、子どもたちの笑顔と成長とともに喜び合えるPTAを目指してまいります。今後とも、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

「クチコミ」のお願い

保護者の皆様をはじめ、PTA役員・会員の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本校では前期で最大の行事「蒼陵祭」を大盛況のうちに終えることができました。このPTA会報にも文化委員の皆様による写真が掲載されており「蒼陵祭」の様子を感じていただけるかと思います。7月4日、5日の一般公開では1,188人も多くの皆様にご来校をいただきました。ご来校いただいた1,188人という数字は都市部の高校にも引けを取らない数字です。木曽地域はもちろん、広く県内、県外からも保護者の皆様をはじめ、卒業生、地元の中学生、小学生、学校の先生方もお越しいただきました。私のところにも20年以上前の上原の卒業生が夫婦で小さいお子さんを連れて校長室に立ち寄っていただきました。

さて、今年度から森林環境科とインテリア科では全国募集を開始し、県外から3名の生徒が入学しています。「地域未来留学」の説明会に今年度は東京に加えて大阪会場にも参加しており、昨年度のPRのノウハウを活かしながら募集を広げていきたいところです。学校でも生徒や職員が「学校のPR」という意識を強く持つようになっています。同窓会のご協力のもと学校PR動画を製作し、現在YouTubeで公開もしています。また本校の広報係の職員も公式Instagram(kisoseihou_official)で学校の様子を頻繁に更新しており、多い時は5万人もの視聴回数を記録するそうです。

一人でも多くの生徒に本校に来てもらえるよう様々なPRをしてはいますが、本校の関係者からの「木曽青峰はいいよ!」という「クチコミ」がなによりだとも感じています。より魅力的な木曽青峰高校となることを今後も目指しますので、皆様の一層のご理解と「クチコミ」のご協力をお願いいたします。



木曽青峰PR動画

PTA役員名簿

役 員（理 事）	
会 長	白金 恒行
副 会 長	曾根田志乃舞
	神出 未奈代
	依 田 健
学校行事委員会	田 中 理 恵
文 化 委 員 会	千 村 由 起 子
学校環境委員会	若 狭 紀 美 子

委員会の活動内容

学校行事委員会 学校や生徒会が主催する行事への協力活動として主に蒼陵祭での飲食物販売を行います。

文化委員会 年2回のPTA会報発行を通じて、地域・保護者の方に学校の様子をお伝えします。

学校環境委員会 校舎、校地、施設等の充実・拡充に向けて校内の危険箇所や通学路の見回り活動を行います。

PTA総会報告

4月18日(土)に 全会員数373名中 総会出席者123名、委任状187名 合計310名。
全ての議案が原案通り可決されました。皆様のご協力により、会がスムーズに進行し、旧役員から新役員へとバトンが渡されました。

学年主任 挨拶

1学年

主 任
菊池 大輔

保護者の皆様におかれましては、日頃より、本校の教育活動にご協力・ご理解いただき、ありがとうございます。
106名でスタートした本学年ですが、日々の学校生活をこきまで無事に過ごすことができました。今年度から、3組は森林環境科、4組はインテリア科とクラス編成も完全に分かれた上で、運営されております。
5月22日の地域学習では、奈良井宿でのフィールドワークを通じて、地域の課題や各自の思い、今後への希望などをまとめ、7月4・5日の蒼陵祭に向けてまとめました。その初の蒼陵祭では、クラス展示や紹介動画、前夜祭のステージでのダンスなどで、一人一人が自分のすべきことに注力していました。

日々の生活においては勿論、クラスマッチや芸術鑑賞、前期中間考査など、多くの行事の中でも全員が確実に成長している姿を目にしております。高校生活は、あっという間に時間が過ぎ去っていきます。そんな中で、各自の目の前の課題を一つ一つ確実に消化し、今後の成長に繋げていってほしいと切に願っております。

教職員一同、尽力させていただきますので、今後ともご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

2学年

主 任
河上 夏来

今年度も半年が過ぎようとしています。生徒たちは全体的に落ち着いた学校生活を送っています。一方で、昨年度からの課題として、心の成長や人間関係の築き方において、まだ発達の途上にあり、悩みを抱えやすい生徒も見られます。一人一人の思いに寄り添いながら、精神的な自立に向けた支援を続けていきたいと思います。

5月の地域学習では、修学旅行での神戸・大阪における防災学習につなげるため、名古屋市港防災センターを訪れました。地震や台風などの災害について学び、実際に体験することで、防災の大切さを改めて感じる事ができました。また、日々の学習やさまざまな活動を通して、自分の将来や進路について考える機会を設け、少しずつ進路への意識を高めています。

部活動を3年生から引き継ぎ、これからは生徒会活動でも学年の中心となっていく時期を迎えます。最高学年になることを見据え、リーダーシップや責任感を高め、一人一人が主体的に行動できるようになることを期待しています。生徒たちのさらなる成長を、保護者の皆様とともに支えていきたいと思います。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

3学年

主 任
前田 拓哉

最高学年になり半年が過ぎました。この半年で一番印象に残っているのは、やはり文化祭です。1年次、2年次と文化祭に参加して来ましたが、いよいよ自分たちが中心になる番が回って来たのです。生徒数の最も少ない学年だということもあり、後輩たちを引っ張っていけるか、少し心配しながら見ていました。文化祭への関心はとても高く、それ故、様々な課題やトラブルも沢山ありました。しかし、話し合って調整し歩み寄っている姿が見られました。そして、先輩方が残してくれた伝統や反省点を活かしながらも、新たな工夫や試みも随所に見られる、とても活気に満ちた文化祭を作り上げることができました。アーチをくぐり校舎に入ると、各教室では個性的な展示やクラス企画が見られます。専門科棟や同窓会館や大体育館へ足を運ぶと、それぞれ違ったイベントが待っています。四角い中庭は、模擬店や企画、文化部の発表で一際賑わっていました。一般公開は二日間でしたが、この木曽の地に、普段とは違う活気と賑わいをもたらすことができたのです。

あと半年となってしまいましたが、残る課題は「進路実現」です。「皆んなで作った文化祭」と、「一人ひとりの進路」は無関係ではありません。文化祭で見てくれたエネルギーを、今度は自身の進路に向けて欲しいと思います。残りわずかとなりましたが、私たちも保護者の皆様と共に生徒一人ひとりの進路実現のため、悔いの残らぬよう尽力して行きたいと思います。

定時制

担任代表
廣井 修子

保護者の皆様には、日ごろから定時制の教育活動に対してご理解、ご協力を賜り、誠に感謝申し上げます。今年度は、生徒12名でスタートしました。7月の蒼陵祭では、定時制の企画として「ハンドメイドマルシェ&フотスポット&プチ縁日」を行いました。来場者の方に楽しんでもらえるよう、皆でアイデアを出しながら進めてきました。当日は、小さなお子さんや接客する生徒たちのたくさんの笑顔が見られました。同月に「生活体験発表大会」も開催されました。発表した生徒たちは、定時制の学校生活で体験したことや考えたことを堂々と語っていました。毎日の学校生活でも、皆、授業や清掃に主体的に取り組んでいます。

これからも積極的に様々な経験を積み重ねることができるよう、支えてまいりたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

部活動結果

サッカー部

2026中信総体1回戦
5月14日(木) 松本市サッカー場
梓川・池工・青峰 0対2 田川高校

水泳競技班

令和8年度長野県高等学校
総合体育大会中信大会
女子100m背泳ぎ 第1位 北野仁奈
女子200m背泳ぎ 第1位 北野仁奈
2種目とも県大会出場

令和8年度北信越高等学校体育大会
女子100m背泳ぎ 7位入賞 北野仁奈
女子200m背泳ぎ 8位入賞 北野仁奈

令和8年度長野県高等学校総合体育大会
女子100m背泳ぎ 第2位 北野仁奈
女子200m背泳ぎ 第2位 北野仁奈
2種目とも北信越大会(7/18-7/19)出場

陸上部

中信高等学校総合体育大会
【男子】奈良尾 悠空(2-2) 400mH 第6位
米山 閑悠(3-3) 山路 慶二郎(3-4)
芝田 燦豪(3-4) 奈良尾 悠空(2-2)
4×100mR 第5位

【女子】上平 七々姫(3-4) 100mH 第6位
上平 七々姫(3-4) 400mH 第4位
原 志緒莉(1-4) 砲丸投 第7位
以上、県総体へ出場

中信高等学校新人体育大会
【男子】奈良尾 悠空(2-2) 400mH【0.914m-35.0m】第5位 1:03.94
森下 創太(1-3) 800m 第6位 2:07.62

【女子】原 志緒莉(1-4) 砲丸投【4.000kg】 第3位 7m90
円盤投【1.000kg】 第5位 19m34
以上3名県新人大大会出場予定(10/2-10/5)

軽音楽部

第21回長野県高等学校軽音楽系クラブ
合同演奏会中南信大会 Power Live2026
バンド名『Lady bug』奨励賞
県大会出場

吹奏楽部

第66回長野県吹奏楽コンクール県大会
B編成出場
金賞 奨励賞

Lush



前夜祭



Wooo!!



クラス展示・定時制展示



NICE!



文化部展示



FUN



COOL! パフォーマンス



Lush



YEAH!

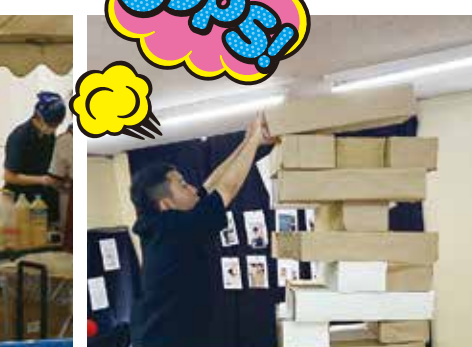


校内の様子

SMILE



OOPS!



蒼陵祭実行委員長 全日制 千村 実久

第18回蒼陵祭は、「Lush」をテーマに掲げ、多くの皆さんの協力のおかげで無事に開催することができました。準備期間には、クラスや係ごとに協力し合い、それぞれが工夫を重ねながら取り組んできました。当日は、沢山の笑顔が溢れ、大きな盛り上がりを見せました。準備期間から当日まで全ての経験が、多くの人にとってかけがえのない思い出になったのではないかと思います。第18回蒼陵祭を盛り上げ、支えてくださった全ての方々へ感謝しています。

蒼陵祭実行委員長 定時制 横澤 心美

今年の蒼陵祭は、多くの皆さんの協力のおかげで無事に終えることができました。準備期間には大変なこともありましたが、一人ひとりが力を合わせ、「より良い文化祭にしたい」という思いで取り組んだからこそ、笑顔あふれる4日間になったのだと思います。仲間と協力して一つの目標を達成できたことは、私にとっても大切な経験となりました。文化祭に関わってくださった先生方、生徒の皆さん、そして支えてくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。